第1回福知山市新文化ホール
事業運営計画検討委員会

令和５年１２月２６日（火）15:00～17:00
福知山市厚生会館　２階　中会議室

これまでの経過

平成31年3月
福知山市文化振興
基本方針策定

令和4年12月
福知山市新文化ホール
基本構想策定

令和5年7月
福知山市新文化ホール
基本計画策定

平成31年3月
福知山市文化振興
基本方針策定

令和4年12月
福知山市新文化ホール
基本構想策定

令和5年7月
福知山市新文化ホール
基本計画策定

福知山市文化芸術基本方針　平成31年3月

本市の文化振興施策全体の指針として、目指す将来像や基本目標、取組の方向性を定めました。本方針が振興の対象とするのは、芸術・技術を含む広い意味での「文化」であり、まちづくり等への活用を含めた文化にかかわる多様な活動としています。そして、文化振興が市民の豊かな生活につながるだけでなく、地域に対する愛着と誇りをもたらし、本市の地方創生における取組の核となることを目指しています。

【表５ 福知山市文化振興基本方針　振興の対象とする文化、基本目標・基本方針】

振興の対象	芸術文化	音楽・美術・演劇・文学・舞踊・写真・映画等
	歴史文化	伝統芸能・茶道・華道・書道 歴史上価値を有する有形・無形の文化財等
	その他文化的な価値を有するもの	本市において独自に形成されてきた文化的な価値を有する 自然・景観・習俗・民芸・産業等
基本目標		知る・見る・感じる機会を提供し、それらに付加価値をつけた活用により、新たな魅力を創出することが重要となります。これらの活動を通して地域の活性化、地域への誇りや愛着を育みます。
基本方針		１　文化の力を活用し、文化で賑わいと魅力あるまちづくりを目指します。
		２　市民が文化に触れる環境を整備し、文化の振興を目指します。

基本施策５　文化活動の基盤となる施設

取組⑪　施設の整備

整備改修に関しては、将来にわたって計画的に実施します。

事業の方向
○将来の人口動態、文化活動のニーズ、市の将来像等を考慮し、計画的に整備改修を行います。 ○市民が気軽に文化に接し、参加できるような施設づくりを目指します。 ○施設の整備にあたっては、民間活力を利用した整備を検討します。 ○老朽化している他の施設との効果的な機能集約も図るなかで、文化活動の核となる文化ホールについて、新たな建設も含め検討します。

（福知山市文化芸術基本方針より抜粋）

平成31年3月
福知山市文化振興
基本方針策定

令和4年12月
福知山市新文化ホール
基本構想策定

令和5年7月
福知山市新文化ホール
基本計画策定

福知山市新文化ホール基本構想　令和４年１２月

基本理念

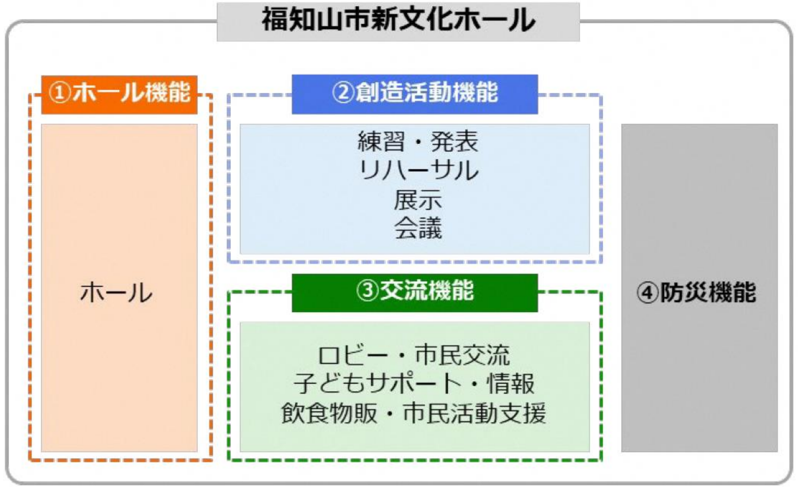
人をつなぐ、活動をつなぐ、時をつなぐ
～新たな福知山市の魅力を築く文化振興の拠点～

新文化ホールは、福知山市における芸術文化、歴史文化、その他文化的な価値を有するあらゆる「文化」の振興を推進する拠点として、また福知山市の未来を見据え、次世代を担う子どもたちをはじめ市民の夢や希望の実現を目指します。

芸術鑑賞の機会の充実、文化に触れるきっかけづくりや様々な活動支援の提供、文化活動を通した多世代での交流の活性化、日常的に憩える場づくり等、文化を振興するための環境を整備するとともに、福知山市の様々な歴史資源や文化資源を活かした新たな活動の創造等、魅力を築く拠点づくりを進めます。

福知山市、さらに北近畿エリアを視野に広域で人と人をつなぎ、教育やまちづくり等、多様な分野をつなぎ、過去と現在・未来をつなぐ等、様々な「つなぎ」を生み出すことによって、お互いを刺激し、福知山市の新しい文化、ひいては福知山市の未来を創造する拠点となることを目指します。

施設の機能



福知山市新文化ホール基本構想　令和４年１２月

管理運営に関する考え方

基本理念に則り、様々な「つながり」を生み、福知山市の文化振興を創造する拠点として、取り組むべき事業や施設の使いやすさ・親しみやすさ等、次の点に留意しながら管理運営の検討を進めていきます。

1) 芸術文化と市民を「つなぐ」ための多様な鑑賞機会、体験機会の提供

文化振興の基盤となる環境づくりや持続的に活動が可能な仕組みを作るため、専門的な人材の配置等を含めた人員体制を検討し、鑑賞と体験機会を提供します。

2) 若い世代が中心となって人と人を「つなぐ」懸け橋となるための市民参加の推進

地域の若い世代が活躍できるよう、アウトリーチやワークショップなど若い世代が参加しやすい事業に取り組み、事業の企画段階から積極的な市民参加・参画を進めます。市民の主体的な活動につながるように利用者間の交流を促進します。

3) 過去・現在・未来へと続く「つながり」のきっかけをつくるための、日常的に居心地の良い空間づくり

特別なイベントがなくても、誰もが気軽に施設を訪れ、多世代で日常的に憩える空間づくりに努めます。

4) 福知山市の豊かな歴史資源と文化資源を「つないで」生まれる独自の文化づくり

福知山市の地域資源の活用や連携によって独自の文化づくりや新たな魅力を創造していくため、福知山市の人材を含む資源の掘り起こしを行い、それらを有機的に結びつけることで、新たな作品や活動づくりを目指します。

5) 文化の力を活かして文化と他分野を「つなぎ」、まちを活性化する連携事業の推進

市内の様々な要素や他分野等と積極的に連携することによって、新文化ホールでの活動・にぎわいが施設内にとどまらず、まちへと波及し、まち全体の活性化につなげます。

平成31年3月
福知山市文化振興
基本方針策定

令和4年12月
福知山市新文化ホール
基本構想策定

令和5年7月
福知山市新文化ホール
基本計画策定

福知山市新文化ホール基本計画　令和５年７月

【新文化ホールの事業の方向性】

自主事業	
1)　文化芸術と市民を「つなぐ」ための多様な鑑賞機会、体験機会の提供	
鑑賞・体験事業	・市民に芸術的体験を提供する鑑賞、体験事業 ・文化振興をめざした活動環境の整備、仕組みづくり事業 ・文化活動をはじめるきっかけとなるような鑑賞、体験事業
2)　若い世代が中心となって人と人を「つなぐ」懸け橋となるための市民参加の推進	
市民参加推進事業	・若い世代が活躍し、多様な市民参加を推進するための事業 ・市民参加で企画、制作、実施する事業 ・市民参加を実現するために必要となる育成講座やワークショップ事業
3)　過去・現在・未来へと続く「つながり」のきっかけをつくるための、日常的に居心地の良い空間づくり	
交流促進事業	・日常的な憩いの場を提供するための事業 ・文化芸術を通じて世代を問わず人が集まり、交流し、つながりを生む事業
4)　福知山市の豊かな歴史資源と文化資源を「つないで」生まれる独自の文化づくり	
人材育成・文化創造事業	・市民の力で地域の文化を振興するための人材の育成事業 ・作品の創造を通じて市民に芸術的体験を提供する事業 ・地域のアーティストや活動団体と地元の子どもたちをつないで、新たな作品や活動づくりを行う事業 ・地域資源を活かした福知山ならではの新たな文化の創造事業
5)　文化の力を活かして文化と他分野を「つなぎ」、まちを活性化する連携事業の推進	
にぎわい創出・連携事業	・新文化ホールが中心となってまちぐるみで実施し、まちのにぎわい活性化を図る事業 ・市内の学校や公共施設等、様々な対象と連携して行う事業
貸館事業	・施設を利用者に貸し出す事業 ・施設を貸し出す際は、施設のスタッフが丁寧に制作（公演の企画立案やスケジュール調整等）や技術等のアドバイスを行い、活動の支援を行う事業

福知山市新文化ホール基本計画　令和５年７月

新文化ホール

①ホール機能	②創造活動機能	③交流機能	④防災対応機能
・客席 ・舞台および舞台裏 ・ホワイエ関係[2] ・楽屋関係 ・技術諸室	・リハーサル室 ・練習室 ・展示スペース	・エントランスロビー ・市民交流スペース ・キッズスペース ・情報スペース ・飲食スペース	・避難場所 ・防災倉庫等

その他機能等

管理運営機能	・管理事務室　等
共用部	・廊下、階段　等
設備機械室	・空調機械室、電気室　等

(2) 客席

・客席は鑑賞に適した座り心地の良い座席とし、良好な鑑賞環境を確保します。

・演技者の表情が分かり、舞台と客席の一体感が得られる空間とするため、段床固定席で 600 席以上を基準として、市民の文化活動に適した機能と良好な鑑賞環境を両立しながら、できるだけ多くの席数増設についても検討します。

(3) 舞台および舞台裏

・市民の吹奏楽等の発表から、プロの公演まで幅広く対応できる広さを確保します。

・可動式の音響反射板[4]を設置し、すぐれた音響性能を備えます。

・舞台袖は音楽だけでなく、演劇等多様な舞台芸術に対応できる広さを確保します。

・舞台備品庫、楽器庫は舞台への搬出入をしやすくします。

・搬出入口は 4t トラックに対応し、天候に左右されず、舞台への搬出入に配慮した位置に設け、ウイング車に対応した天井高を検討します。

【図３　建設予定地位置図（近隣）】

平成31年3月
福知山市文化振興
基本方針策定

令和4年12月
福知山市新文化ホール
基本構想策定

令和5年7月
福知山市新文化ホール
基本計画策定

文化振興の目標を作り、

文化振興や文化活動のための新文化ホールをつくる構想を決めて、

ハードの基準
ソフトの方向性
を決めた！

今後の進め方

令和5年7月
福知山市新文化ホール
基本計画策定

ハードの基準
ソフトの方向性
を決めた！

これから

基本
設計

こんな建物にしよう！

事業運営
計画

こんな事業をしよう！
こんな管理運営をしよう！

福知山市新文化ホールの整備に係る議題に対する付帯決議

1　新文化ホール事業運営計画支援業務においては、市民の意見聴取など対話しやすい環境を整備すること。

2　新文化ホール基本設計業務においては、基本設計の作業段階で、市民参加と意見を聴取する機会を設け、柔軟に意見を取り入れること。

3　将来の福知山市の財政負担を加味しながら事業を進めること。

4　市民が新文化ホールの計画進捗状況について容易に知ることができるようわかりやすい情報発信に努めること。

5　用地も含め事業進捗の節目には、議会に対して丁寧な説明を行うこと。

ソフト事業・コンテンツの概要について

【新文化ホールの事業の方向性】

自主事業	
1) 文化芸術と市民を「つなぐ」ための多様な鑑賞機会、体験機会の提供	
鑑賞・体験事業	・市民に芸術的体験を提供する鑑賞、体験事業 ・文化振興をめざした活動環境の整備、仕組みづくり事業 ・文化活動をはじめるきっかけとなるような鑑賞、体験事業
2) 若い世代が中心となって人と人を「つなぐ」懸け橋となるための市民参加の推進	
市民参加推進事業	・若い世代が活躍し、多様な市民参加を推進するための事業 ・市民参加で企画、制作、実施する事業 ・市民参加を実現するために必要となる育成講座やワークショップ事業
3) 過去・現在・未来へと続く「つながり」のきっかけをつくるための、日常的に居心地の良い空間づくり	
交流促進事業	・日常的な憩いの場を提供するための事業 ・文化芸術を通じて世代を問わず人が集まり、交流し、つながりを生む事業
4) 福知山市の豊かな歴史資源と文化資源を「つないで」生まれる独自の文化づくり	
人材育成・文化創造事業	・市民の力で地域の文化を振興するための人材の育成事業 ・作品の創造を通じて市民に芸術的体験を提供する事業 ・地域のアーティストや活動団体と地元の子どもたちをつないで、新たな作品や活動づくりを行う事業 ・地域資源を活かした福知山ならではの新たな文化の創造事業
5) 文化の力を活かして文化と他分野を「つなぎ」、まちを活性化する連携事業の推進	
にぎわい創出・連携事業	・新文化ホールが中心となってまちぐるみで実施し、まちのにぎわい活性化を図る事業 ・市内の学校や公共施設等、様々な対象と連携して行う事業
貸館事業	・施設を利用者に貸し出す事業 ・施設を貸し出す際は、施設のスタッフが丁寧に制作(公演の企画立案やスケジュール調整等)や技術等のアドバイスを行い、活動の支援を行う事業

具体的に
こんな事業が
行えそう♪

こんな事業が
効果的かも！

管理運営手法の方向性について

【直営と指定管理の特徴】

項目	直営	指定管理
経営視点	×予算の確保や運用面での縛りが多く、効率性や収益性のインセンティブが働きにくい	○予算の柔軟な運用や効率的な運営が可能
ネットワーク	○文化政策や関連部署と連動性が高い	○アーティストの招聘・出演交渉に必要な人脈等をもっている
自主事業	△事業内容は職員の力量に左右される。専門の職員を雇用できる場合は、内容の充実、事業の継続性が確保できる	△法人形態（組織目的）によっては、非効率・不採算な事業には消極的になる ○他市・全国と同等の事業の提供が期待できる
市民参加	○地域の実情を踏まえた運営や事業や市民協働が可能	×民間事業者にとっては人的・経済的な負担が大きい
専門性の確保	×人事異動によるノウハウの継承が難しく、専門的人材の継続的確保が課題	○専門的人材・ノウハウを有し、質の高いサービスや事業の提供が期待できる ×指定期間による人材・事業の不安定化、終了・交代に伴う切替の混乱が生じる

シンポジウムの開催について

新文化ホール計画推進に係るシンポジウムの開催について

シンポジウム開催概要（案）

本市における文化芸術、歴史文化、その他文化的な価値を有するあらゆる「文化」の振興を推進する拠点として整備を進めている「福知山市新文化ホール」について市民の皆様とともにより良い施設のあり方を考えるため、舞台芸術とその活動の場である文化ホールに焦点を当てたシンポジウムを開催したい。

プログラム（案）

第１部　新文化ホール整備事業に関する状況報告

「新文化ホール計画の検討状況について」（福知山市）

第２部　基調講演

（仮）「感動に出会える場所　感動をつくる場所　ハレノワ（仮）」
岡山芸術劇場　ハレノワ　プロデューサー　渡辺弘　様

東京「銀座セゾン劇場」、長野「まつもと市民劇場」の開館準備や運営に長年携わってきた経験を踏まえ、「岡山芸術創造劇場　ハレノワ」等のプロデューサーとしての立場から、芸術監督の必要性や新文化ホールが地域でどういう役割を果たすべきかについて講演

（仮）「長久手文化の家　２５周年の歩み（仮）」
長久手文化の家　館長（長久手市生涯学習課長）　生田創　様

公共施設の直営による管理運営及び自主事業の展開などハード、ソフト両面からの施設運営全体と行政の立場から長年の取組について講演

第３部　ワークショップ

基調講演後に３～５人一組でワークショップを行い、各グループで出た意見を発表する。